

令和 7 年 1 2 月

富 山 市 議 会 定 例 会

市 長 提 案 理 由 説 明 要 旨

令和7年12月市議会定例会の開会に当たり、提出いたしました案件の概要等について申し上げます。

(はじめに)

はじめに、合併20周年記念式典について申し上げます。

去る10月19日に、オーバード・ホール中ホールにおいて「富山市合併20周年記念式典」を開催し、前市長の森雅志氏を名誉市民として推戴するとともに、市勢の発展や市民福祉の向上に顕著な功績を残された8名の皆様を特別功労者として表彰いたしました。

また、映像により、合併からの20年間を振り返ったほか、スポーツ・文化の分野から、本市ゆかりの方々をお招きしてパネルディスカッションを実施しました。

関連する様々な事業と合わせ、本市の歩みや魅力等を改めて認識するとともに、本市が未来のさらなる発展に向け、新たな一步を踏み出す大変有意義な機会となったものと考えております。

次に、クマ対策について申し上げます。

10月以降、全国的にクマの出没が相次ぐ中、本市においても住宅地でのクマの痕跡や目撃情報が急増しております。

10月23日には、熊野地区の住宅地で、11月5日には、新保地区の

国道 41 号沿いでクマが出没したことから、本年 9 月から可能となった「緊急銃猟」により、駆除を行いました。

本市では、職員によるパトロールの実施など、全庁体制で取り組んでおりますが、加えて各地区における環境整備等への支援や警察及び猟友会等との連携により、総合的に対応しているところであります。

市民の皆様におかれましては、引き続きクマが冬眠の時期を迎えるまで、今しばらく、厳重に警戒していただきますようお願い申し上げます。

次に、新政権の誕生に関して申し上げます。

去る 10 月 21 日に召集された第 219 臨時国会において、高市早苗自民党総裁が第 104 代内閣総理大臣に指名され、同日、新内閣が発足いたしました。

女性首相の誕生は、我が国憲政史上初のことであり、祝意を表するところでありますが、長引く物価高への対策をはじめ、外交・安全保障、人口減少、少子超高齢化、地方創生など、課題は山積しております。

また、26 年間続いた自民・公明の連立体制から、自民・維新による連立へと枠組みが変化することにより、日本の政治は大きな転換点を迎えております。

高市内閣におかれましては、今まで以上にスピード感をもって、直面する課題や、急速に変化する社会情勢に対応することが求められており、強いリーダーシップの下、着実に政策を実行されますことを期待しております。

なお、今国会において、物価高騰対策を柱とする補正予算が成立した暁には、本市においても速やかに対応してまいりたいと考えております。

さらに、現在検討されている税制改正に当たっては、地方財政に影響を及ぼすことがないように、代替財源の確保について留意されますよう、強く望むところであります。

次に、ブラジル連邦共和国パラ州ベレンで開催されました国連気候変動枠組条約第 30 回締約国会議「COP30」について申し上げます。

環境省からの招へいを受け、現地時間の 11 月 12 日に、この会議のジャパンパビリオンにおけるサイドイベントに参加してまいりました。

当日は、本市が進めるゼロカーボンの取組として、小学校で実施している環境教育や、チリ共和国サンティアゴ市レンカ区との都市間連携の成果などについて発表するとともに、関係者との意見交換を行う

など、短い滞在ではありましたが、大変貴重な時間を過ごしてまいりました。

本市のこれまでの環境分野における国際展開事業の取組が、高い評価を受けたことは名誉なことであり、今後も環境先進都市として、脱炭素社会の実現に向けた取組を加速させてまいりたいと考えております。

（来年度予算編成について）

次に、来年度予算編成について申し上げます。

令和8年度予算は、歳入については、市民税は、給与所得の増加などにより、固定資産税は、家屋の新增築などにより、共に増収が見込まれ、市税全体では、本年度の当初予算を上回るものと見込んでおります。

また、地方交付税について、国は、地方の一般財源の総額は、本年度と同水準を確保することから、市税と合わせた一般財源総額においても、本年度の当初予算を上回るものと見込んでおります。

一方、歳出については、義務的経費である人件費、扶助費及び公債費の増加が見込まれることに加え、災害からの復旧・復興、継続事業である総合体育館及びオーバード・ホール大ホールの大規模改修の実施、さらには、喫緊の課題である、人口減少や少子化への対策など、

大きな財政需要が見込まれ、極めて厳しい財政状況となることが予想されます。

このため、政策的経費の予算要求の基準は、今年度当初予算に比べ一般財源ベースで、総合計画に係る事業については、マイナス 10 パーセント、総合計画以外の事業については、マイナス 25 パーセントと設定したところであります。

なお、本市最大の課題である人口減少や少子化への対策に全庁を挙げて取り組むため、「人口減少・少子化対策特別枠」を設定し、重点的に予算配分を行うとともに、「部局主導裁量枠」を設けて、部局からの積極的な事業の提案を促してまいりたいと考えております。

今後の予算編成に当たりましては、一般財源の確保に努めるとともに、聖域なき歳出の抑制を図りながら、限られた財源の重点的、かつ効率的な配分に努め、健全財政を堅持しながら、市民一人ひとりが誇りと希望を持てる予算となるよう、取り組んでまいります。

(提出案件について)

次に、提出いたしました案件について、その概要を申し上げます。

(1 予算案件について)

予算案件については、令和 7 年 8 月及び 9 月の大雨被害関連や、人

件費などの補正を行うものであり、一般会計では 26 億 2,800 万余円を追加するものであります。

また、まちなか診療所事業などの特別会計では、32 億 500 万余円、水道事業などの企業会計では、2 億 2,600 万余円を追加するものであります。

次に、歳出予算の主な内容について申し上げます。

(①令和 7 年 8 月及び 9 月大雨被害関連)

まず、令和 7 年 8 月及び 9 月の大雨被害関連として、被災した農地や市道などの復旧に要する経費を計上しております。

(②県の追加承認に伴うもの)

次に、県の追加承認に伴うものとして、土地改良区に対する農業用水路整備などの支援に要する経費を計上しております。

(③その他の事業)

その他の事業として、不足が見込まれる児童手当に要する経費や、防災行政無線のモーターサイレンの改修に要する経費、市民球場の和式トイレの一部を洋式トイレに改修する経費などを計上しております。

す。

(④特別会計)

特別会計では、まちなか診療所事業特別会計において、医療機器の借り上げに要する経費、介護保険事業特別会計において、介護保険事務処理システムの改修に要する経費など、企業団地造成事業特別会計において、企業団地の土地売払いに伴う繰出金など、競輪事業特別会計において、車券売上収入の増加に伴う払戻金などに要する経費、公設地方卸売市場事業特別会計において、地中障害物の撤去に要する経費などを計上しております。

(⑤企業会計)

企業会計では、病院事業会計において、応援医師等に対する報償費を計上しております。

(⑥人件費)

また、人件費については、一般会計、特別会計、企業会計において所要の補正を行うものであります。

以上が歳出のあらましですが、これらに要する財源として、一般会

計では、事業に伴う国・県支出金及び地方債、繰越金などを充てております。また、特別会計では、財産収入及び繰入金など、企業会計では、繰入金などを充てております。

次に、継続費及び債務負担行為について申し上げます。

まず、継続費については、一般会計において、橋りょう維持補修事業費の変更を行うもの、公共下水道事業会計において、大沢野浄化センター自家発棟建築新設事業費の変更を行うものであります。

債務負担行為については、一般会計及び水道事業会計において、公共事業の円滑、かつ効率的な執行を図り、事業の平準化を推進するため、令和8年度に施工予定の工事を前倒し発注するための限度額を設定するものなどであります。

（２ その他の案件）

次に、予算以外の案件について申し上げます。

まず、条例案件については、「富山市老人憩いの家条例の一部を改正する条例」を制定するものなど20件であります。

契約案件については、富山市婦負斎場解体工事の請負契約を締結するものなど3件であります。

その他の案件については、富山市駐車場の指定管理者の指定の件な

ど6件であります。

承認案件については、専決処分に関するもの1件、報告案件については、損害賠償請求に係る和解の専決処分に関するもの1件であります。

以上が、今回提出いたしました案件の概要であります。ご審議の上、議決を賜りますよう、お願い申し上げます。